

3 地域福祉の推進

<基本計画の目標>

誰もが住み慣れた地域での支え合いにより、安心して豊かな生活を送るためのまちづくりをめざします。

<目標指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H18	H19	H20	H21	H22年度 目標値	H27年度 目標値
福祉ボランティア 団体構成員数 (+)	社会福祉協議会で把握している 福祉ボランティア団体の登録者 数	2,375 人	2,539 人	2,343 人	2,230 人	2,178 人	2,400 人	2,500 人
地域福祉活動の 必要度(+)	何か困ったことがあったとき、隣 近所などと助け合うことができる 市民の割合	61.0 %	58.4 %	62.1 %	61.8 %	59.3 %	66 %	69 %
市民満足度	地域福祉が進んでいるかについ て、市民が実感している割合	39.7 %	42.7 %	40.7 %	47.2 %	45.6 %	50 %	60 %

<これまでの取組の評価～進捗と課題>

評価: ◎80%以上の成果、○50%以上の成果、△30%以上の成果、×30%以下の成果

・健康福祉部

<昨年度からの課題>

- ・市民の地域福祉への関心は高く、さらにその支援の方法を充実させていく必要がある。
- ・地域福祉支援室の活動や役割について、積極的な情報発信が必要である。

<進捗>

- ・鎌倉市社会福祉協議会と協働で「地域福祉支援室」を設置し、地域の福祉課題の発見と解決への支援を行なうことができた。

<課題>

- ・高齢化の進展とともに、ますます、地域での福祉課題の解決が重要になると予測される。地域の諸課題の解決には、支え合う地域の仕組みづくりが必要で、また、そのために地域福祉を担う人材の育成が重要である。

担当部の評価



<今後の展開(取組方針)>

・健康福祉部

・「地域福祉支援室」の活動を中心に、地域での様々な活動や取組みを支援し、それぞれの地域における福祉課題の解決を目指して、支え合いの地域づくりによる地域福祉を推進します。

- ・「地域福祉支援室」の認知度がさらに上がるよう、電子媒体による地域情報の発信に取り組んでいきます。

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・専任スタッフを置く「地域福祉支援室」を設置しことは評価出来るが、設置したばかりであり、今後の成果に期待したい。
- ・地域福祉支援室の設置により、社会福祉協議会と市とのよりよい協働が推進されることが期待される。
- ・地域福祉の推進は高齢者にとって福音であるが、その活動の根底・出発点をなすものは、安易な地域依存型福祉でなく、先ずは高齢者の自立を促すものでありたい。



課題・提言

- ・地域が抱える課題は「福祉」に限らず、防犯防災などの安全やゴミなどの環境に関わる問題など多岐にわたっている。この分野としての対応は「地域福祉支援室」に現れていると思うが、福祉以外の分野の課題への地域対応を関連する分野と連携していく姿勢を持って欲しい。
- ・独居老人など災害時弱者に関する情報を地域コミュニティが共有する必要がある。一方で個人情報保護に配慮しながら地域福祉の質をあげる必要がある。
- ・鎌倉市社会福祉協議会との協働である「地域福祉支援室」の活動が良く分からない。活動内容が広く市民に伝わるよう、広報して欲しい。